

経営比較分析表（令和元年度決算）

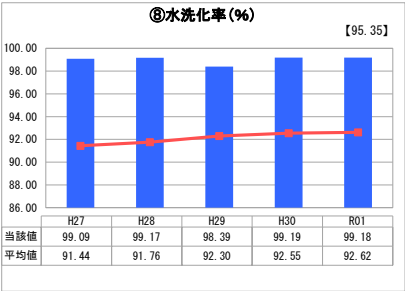
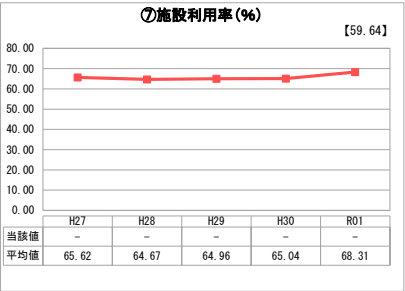
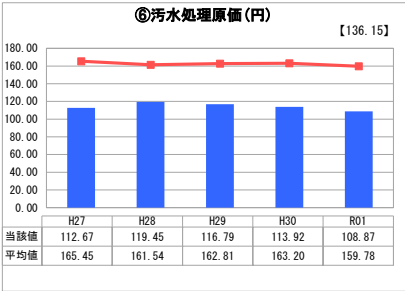
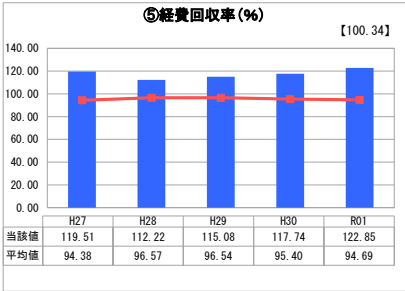
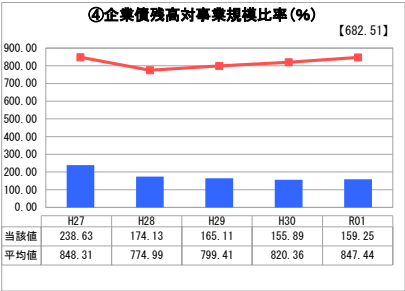
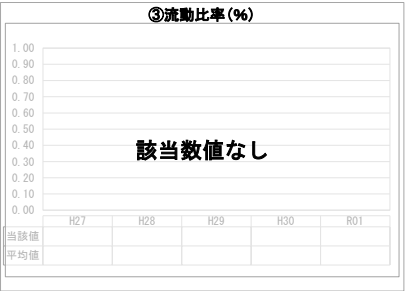
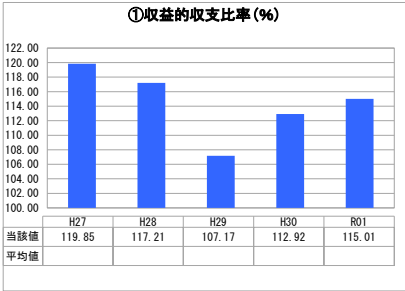
千葉県 印西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
1.40	該当数値なし	81.37	83.81	2,178

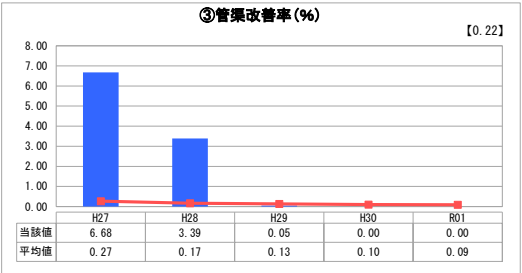
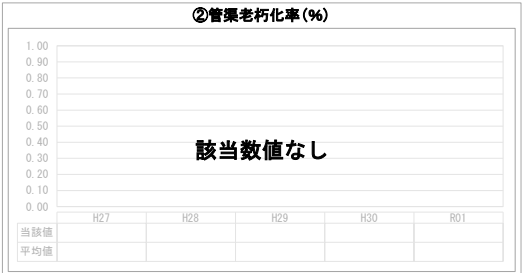
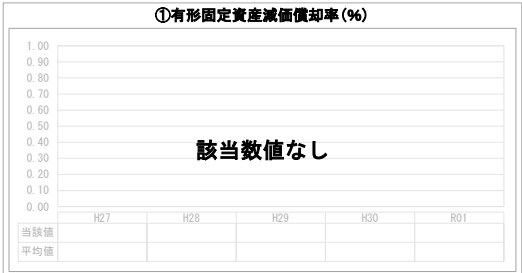
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
103,513	123.79	836.20
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
84,461	18.32	4,610.32

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率について
収益の収支比率は、100%以上を維持しており、単年度収支は、黒字となっている。

④企業債残高対事業規模比率について
企業債残高対事業規模比率は、類似団体及び全国平均値と比較しても低い水準にあり、地方債残高は減少傾向にある。

⑤経費回収率について
経費回収率は、100%以上を維持しており、汚水処理費を全て使用料で賄えている状況である。

⑥汚水処理原価について
汚水処理原価は、類似団体及び全国平均値と比較しても低い数値となっており、110円～120円で安定している。今後見込まれる更新投資等を効率的に行っていくよう努める。

⑧水洗化率について
水洗化率は、類似団体及び全国平均値と比較しても高い数値となっている。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率について
管渠改善率は類似団体及び全国平均と同様に低い水準となっている。昭和55年の供用開始以降、管渠の更新が進んでいない状況にあることから計画的な経営に取り組むとともに、長寿命化を図っていく必要がある。

全体総括

印西市の公共下水道は、7割以上が千葉ニュータウン区域であるため、受贈資産が多いことから下水道整備に充てた地方債が全国平均と比べ低く、処理区域内人口の増加とともに使用料も増加している状況である。

一方で、今後老朽化が進んでいく中で管渠等の維持管理及び更新にかかる費用は膨大になることも予想されることから、計画的な長寿命化を図り、持続的に安定した経営に努めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。